

第1回 高速道路における天然ガスパイプライン設置に 関する技術的課題検討委員会

議 事 次 第

日 時：平成28年 8月 9日（火）9：30～11：30

場 所：一般財団法人 国土技術研究センター 7F 第3会議室

1. 開 会

理事長挨拶

2. 出席者紹介

委員長挨拶

3. 議 事

- (1) 委員会の設立趣旨と検討方針
- (2) 天然ガスインフラの現況について
- (3) 検討すべき技術的課題について
- (4) 今後の予定について

4. 閉 会

【配布資料】

- 資料1 委員会規約
- 資料2 委員会名簿
- 資料3 委員会の概要
- 資料4 天然ガスインフラの現況
- 資料5 検討すべき技術的課題
- 資料6 古河～真岡幹線の整備状況
- 資料7 今後の予定

第1回 高速道路における天然ガスパイプライン設置に関する 技術的課題検討委員会

議事概要

日時:平成28年 8月9日(火) 9:30~11:30

場所:一般財団法人 国土技術研究センター 7F 第3会議室

議事: (1)委員会の設立趣旨と検討方針

(2)天然ガスインフラの現況について

(3)検討すべき技術的課題について

(4)今後の予定について

出席者:別紙

各資料について、事務局より説明。討議の結果、主に以下のご意見について、今後の検討内容に反映させることとなった。

<委員からの主なご意見>

○ガスパイプラインを高速道路に敷設するメリットを明確にする必要がある。

○諸外国の事故の発生状況を整理したうえ、高速道路に敷設した場合の事故の発生リスク、および事故時のガス事業者の対応について整理する必要がある。

○高圧導管や付帯設備の維持管理・点検等の項目や方法等について、整理する必要がある。

○今までの大雨や地震において、盛土が崩壊した場合や地盤が変状した場合の高圧導管の損傷事例について、整理する必要がある。

○道路改築等への影響について、検討項目に加えるべきである。

○高速道路の要求性能に「周辺の安全性」を加えるべきである。

○国内外での高速道路を活用した取り組みを整理する必要がある。

以上

出席者

委員長	藤野 陽三	横浜国立大学先端科学高等研究院	上席特別教授
委員	太田 秀樹	中央大学研究開発機構	教授
〃	望月 正人	大阪大学大学院工学研究科	教授
〃	内藤 克彦	京都大学大学院経済学研究科	特任教授
委員 (代理)	七條 勇佑	総務省 消防庁	危険物保安室 課長補佐
委員 (代理)	川村 美穂	経済産業省 資源エネルギー庁電力・ガス事業部	ガス市場整備室 室長補佐
委員	鎌原 宜文	国土交通省道路局	路政課長
〃	伊勢田 敏	国土交通省道路局	高速道路課長
〃	木村 嘉富	国土技術政策総合研究所	道路構造物研究部長
委員 (代理)	佐々木 直人	天然ガス鉱業会	技術部長
委員	望月 秀次	株式会社高速道路総合技術研究所	総括研究主幹
〃	朝倉 堅五	株式会社テイコク	特別顧問
〃	三浦 真紀	一般財団法人国土技術研究センター	理事
事務局	加藤 真司	一般財団法人国土技術研究センター	道路政策グループ
〃	丸山 大輔	〃	〃
〃	青木 秀雄	〃	〃